

令和7年度 坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校 学校関係者評価報告

坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校は令和7年度の自己点検・自己評価結果等の報告をもとに学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

「令和8年度第1回評価委員会」

日 時：令和8年4月1日（水） 14：00～14：55

場 所：坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校 会議室

【外部委員】

栄クリニック	院長	吉松 栄彦
医) 刀仁会 坂戸中央病院	看護部長	八島 みどり
林法律事務所	弁護士	林 真由美
広域紋別病院	卒業生	中澤 健二

【学校側】

学校長 関根 勝	
副学校長 清水 さとみ	副学校長補佐 三原 千か代
教務部長 森田 真弓	教務係長 吉野 里子
教務係長 阿佐美 夕姫	事務係長 楠 純子

議事

学校長挨拶

1. 報告事項
 - 1) 令和7年度卒業生動向
 - 2) 令和7年度在校生状況
 - 3) 在校生アンケートの結果
 - 4) 保護者・就職先アンケートの結果
 - 5) 令和7年度授業評価
 - 6) 令和7年度業務報告等の結果からの総括
 - 7) 学校運営評価の結果と考察
2. 質疑応答および意見交換
3. 評価（3段階での評価決定）

今年度は、外部委員に文書にて「令和7年度の自己評価・学校関係者による評価結果および学校側の総括」を送付し、評価委員それぞれから意見・評価をいただき、学校側委員とともに、その他教職員が参加して自己評価報告に基づき意見交換を実

施した。

4年連続の定員割れについてはこれまで以上に努力していることを認めていただきながらも、収入減などの危機感が示された。今回の国家試験全員合格は喜ばしい。今後も国家試験合格率を確保するうえでより一層の指導の継続が必要との意見とともに今年度の指導方針に賛同を得られた。